

こどものしゅうへん 2024年4月



くさつしりつとしょかん ぎょうじ
草津市立図書館の行事 / 電話 077-565-1818

ひらいてワクワク
めくってドキドキ

●子ども読書の日記念 フックトークの会 テーマにそって本を紹介するよ!

4月4日(木) 10時30分~12時00分

2階 会議室

●子ども読書の日記念 木曜おはなしのじかん (赤ちゃん向け) **キッズデー** てあそびやえほんをよむよ!

4月11日(木) 11時00分~11時30分

2階 会議室

●子ども読書の日記念 おはなしのじかん (幼児向け) えほんやかみしばいをよむよ!

4月13日(土) 2時30分~3時00分

1階 えほんコーナー

●子ども読書の日記念 おはなし会 (幼児~小学校中学年向け) おはなしや大型えほんをよむよ!

4月27日(土) 2時30分~3時15分

2階 会議室

○みなみくさつとしょかん ぎょうじ
南草津図書館の行事 / 電話 077-567-0373

○子ども読書の日記念 おはなし会 (幼児~小学校中学年向け) おはなしや大型えほんをよむよ!

4月13日(土) 11時00分~11時45分

市民交流プラザ 音楽室

○子ども読書の日記念 木曜おはなしのじかん (赤ちゃん向け) **キッズデー** てあそびやえほんをよむよ!

4月25日(木) 11時00分~11時30分

えほんコーナー

○子ども読書の日記念 おはなしのじかん (幼児向け) えほんやかみしばいをよむよ!

4月27日(土) 2時30分~3時00分

えほんコーナー

行事について

会議室・音楽室で開催の行事は当日開演
15分前から入場していただけます。



『おおきくなりすぎちゃったじゃがくん』 E三
まるやま なお/作 (みらいパブリッシング)

じゃがいものうじょうでひとりだけおおきくなりすぎてしまったじゃがいものじゃがくん。あんまりおおきいので、シェフにおりょうりしてもらおうとしても、おなべからはみだしてしまいます。これじゃあだれにもたべてもらえない。じぶんをたべてくれるばしよをみつけに、じゃがくんはなかまとわかれてたびにでました。



『大きくなるってこんなこと!』 (評論社) Eヒ
ルース・クラウド/ぶん ヘレン・オクセンバリー/え
山口 文生/やく

はるがくると草も木も花もそだっていくけれど、ぼくも大きくなるのかな? おかあさんにきいたら「もちろんよ」だって。なつがきて、ヒヨコもコイヌも大きくなった。ぼくも大きくなるのかな? 「もちろんよ」とおかあさん。大きくなってどんなこと? 小さかったぼうやにも少しずつ変化がおとずれます。



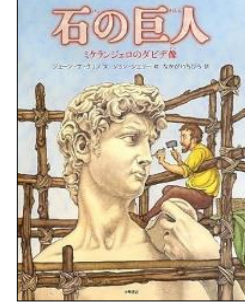
『まゆとおおきなケーキ』 (福音館書店) Eフ
とみやま ようこ/ぶん ありや なな/え

まゆは、やまんばのむすめです。あるあたたかな春の日、やまんばのかあさんとまゆは、山のみんなをまねいてパーティーをひらくことにしました。「せかいいちでっかいケーキをやくぞー!」まゆは大はりきりです。ところが、あとはおひさまのひかりでやくだけという時、山の上に大きな雲が近づいてきました。



『石の巨人』 (小峰書店) 712
ジェーン・サトクリフ/ぶん ジョン・シェリー/え
ながわ ちひろ/訳

むかし、フィレンツェのまちに「巨人」とよばれた大きな石のかたまりがありました。もとはといえば、グビデ像をつくるために運ばれてきた石でしたが、石が大きすぎて彫刻家たちもお手上げでした。人々は困りはてていましたが、ある時ひとり彫刻家に声がかかりました。その人こそ、かの有名なミケランジェロでした。



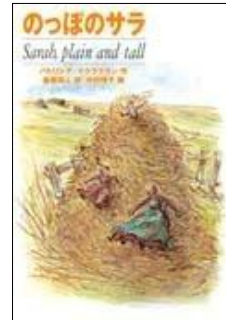
『ネズミなんびきでゾウになる?』 (小学館) 410
トレイシー・ターナー/ぶん アーロン・カシュリー/イラスト
クジャータン・ボスキット/数のおはなし
たけうち 薫/訳・監修

ゾウってどのくらい大きいのだろう? エベレストの頂上まで階段だと何階段? 太陽の中に地球はいくつ入るかな? 大きな数を考えるとむずかしくなっちゃうよね。でも、しくみさえわかればこわくない。大きなものをいろんなものとくらべてみたら、たのしい発見がたくさんあるよ。



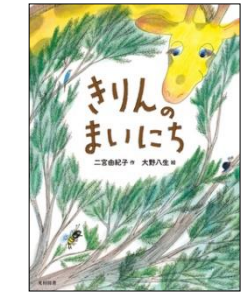
『のっぽのサラ』 (徳間書店) 933.7マ
パトリシア・マクララン/作 中村 悦子/え
かねはら みずひと/やく
金原 瑞人/訳

わたしのママが天国に行っちゃってから何年かたって、パパはあたらしいおよめさんをむかえるために広告を出した。海辺の町からやってきたのはサラという背の高い女のひとで、ママとはぜんぜんちがうけど、わたしや弟にいろんなことを教えてくれる。この人がずっとうちに来てくれたらいいのになあ。



『きりんのまいにち』 (光村図書出版) 913.6二
にのみや ゆきこ/作 おおの やよい/え
二宮 由紀子/訳 大野 八生/絵

きりんのまいにちはいろいろだ。トースターを使ってパンをやいてみたり、本をよんだり、海にだって行く。そして、かくれんぼをするときは、じぶんひとりです。だってすぐに見つかったら。いったいどうやってするのか? ちょっとぴりのんびりやのきりんと、きりんのことが大好きな、なかまたちのおはなし。



『おーい、ふじさん!』 (クレヴィス) Eク
おおやま ゆきお/しゃしんとことば

『ふじさんは、おおきいね。とおくからでも、みえるよ。』ちかくで見るともっとおおきい。どんなふうに見えるかな? この本の作者の大山行男さんは、若い頃に富士山のとりこになって以来、ずっと富士山の写真を撮り続けています。季節や天候によって表情を変える富士山の美しい写真絵本です。



『大きなたまご』 (岩波書店) 933.7バ
オリバー・バターワース/作 まつおか きょうこ/やく
松岡 享子/訳

ある朝、ネイトの家で飼っているめんどりの一羽がとてつもなく大きなたまごを産みました。その事件は新聞にもものるほどでしたが、それから何週間たってもたまごはかえりません。みんながだんだんあきらめかけた頃、ネイトは巣の中にびっくりするものを発見します。そこにいたのはひよこことまったくちがう生き物でした!



『おおきさくらべ』 (教育画劇) Eキ
とみやま しげとし/え かわむら たかし/ぶん
遠山 繁年/絵 川村 たかし/文

むかしむかし、大きなつるがありました。つるは、じぶんがこのよのなかでいちばん大きいのだと、いつもみんなにじまんしていました。ところが山はつるにいいまいます。「山のむこうに行けば、おまえより大きなものがきっとあるさ」つるはたしかめることにしました。



『どすこい!』 (国土社) 913.6モ
もりの 森 ともち/作 きとろ まさこ/え
佐藤 真紀子/絵

相撲大会でぼくと健太をふっとばしたのは同じ六年とは思えないくらい大きいやつだった。このままじゃ次の大会でぼくらの優勝旗がうばわれてしまう。そんな時、健太がすごい情報を持ってきた。それは駄菓子屋のじいさんが昔、力士だったらしいってこと。弟子入りをたのみたいけど、あの偏屈なじいさんが聞いてくれるだろうか。



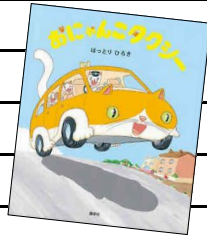


あたらしくはいったこどものほん



えほん

いぬのサイモンほねがほしいもん	コーリー・R.テイバー	化学同人
恋するお三輪	網中 いづる	くもん出版
おねえちゃんていいなあ。	岡田 千晶	佼成出版社
おにゃんこタクシー	はっとり ひろき	講談社
なんていいひ	スージー・リー	小学館
ふたごパンダのおくりもの	はせがわ ゆうじ	中央公論新社
おすしがあるひたびにでた	田中 達也	白泉社
海辺の村のパン屋	ポーラ・ホワイト	BL 出版
だいじょうぶかなはじめてのしゅくだい	うめだ ちづる	ひかりのくに
くまくんです。	村上 康成	ひさかたチャイルド
世界	junaida	福音館書店
もっとまざっちゃおう！	アリー・チャン	フレーベル館
ムムさんのまほうのケーキ屋さん	コンドウ アキ	マイクロマガジン社



(えほんは出版社の順に並んでいます)

よみもの

ねえねえ、きょうのおはなしは…	大塚 勇三	908.3	ネ
インサイド	佐藤 まどか	913.6	サ
ぼくの町の妖怪	野泉 マヤ	913.6	ノ
となりのきみのクライシス	濱野 京子	913.6	ハ
ふしぎ町のふしぎレストラン 7	三田村 信行	913.6	ミ
七不思議神社 6	緑川 聖司	913.6	ミ
椋鳩十童話集	椋 鳩十	913.6	ム
彼女たちのバックヤード	森埜 こみち	913.6	モ
ココロの花	八東 澄子	913.6	ヤ
直紀とふしぎな庭	山下 みゆき	913.6	ヤ
わたしの名前はオクトーバー	カチャ・バーレン	933.7	ベ
僕たちは星屑でできている	マンジート・マン	933.7	マ



そのほかのほん

月と銀河と星のロマン		440
飛行機の学校		538.6
めし画レシピ	山田 めしが	596.4
ことばいいかええほん	川原 瑞丸	809.2



よみたいほんがかしだしちゅうのときはよやくしてね！